

龍村 全 (たつむら ぜん)

職 業	弁護士
事 務 所	龍村法律事務所
住 所	〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 7階
電話番号	03-6206-1515

【主な経歴】

一橋大学法学部・卒業
最高裁判所・司法研修所（37期）・修了

昭和60年 弁護士登録（第二東京弁護士会）
昭和60年～昭和62年 日本アイ・ビー・エム株式会社・法務部（社内弁護士）
昭和62年 森綜合法律事務所（現・森・濱田松本法律事務所）所属。同パートナーを経て、
平成10年 龍村法律事務所・開設
平成12年 弁護士登録
平成15年～平成18年 中央大学大学院法学研究科兼任講師
平成19年～早稲田大学大学院法務研究科兼任講師
平成20年～早稲田大学大学院法務研究科客員教授

【主な取扱分野】

知的財産権関連訴訟、準司法手続、ADR その他の紛争解決手続及び関連法律相談
企業活動に関する法律業務、IT・エンターテインメント関連、倒産処理関連 他

【著書等】

〈著作〉
共著『株主対策実務ハンドブック』（第一法規出版）
同『マルチメディアビジネスと法律』（日本経済新聞社）
同『2000年問題のすべて』（PHP研究所）
同『知的財産権事典〔第2版〕』（丸善株式会社）
Christopher Heath 氏との共著“Copyright Act, sec.23; Civil Code, sec.709”
（IIC[International Review of Industrial Property and Copyright Law]Vol.28 No.3 1997）
同『ソフトウェア関連判例の最新動向ー平成12年度版』
『ー平成13年度版』『ー平成16年度版』（(財)ソフトウェア情報センター）
同「著作権法と意匠法との交錯問題に関する研究」（(社)著作権情報センター著作権研究所研究叢書No.9）
監修・NTT情報流通プラットフォーム研究所著『最新 情報漏洩対策ガイドブック』（アスキー）
「外国人による株式取得と法規制(上)(中)(下)」（旬刊商事法務 1181号・1182号・1184号）
「パブリシティの権利と保護の現状と課題」（コピーライト 1995年10月号9頁）
「情報システムの西暦2000年対応を考えるーソフトウェアの契約等に係わる法的諸問題」（『JUAS 通信／情報システムフォーラム 1997/2』JUAS）
「音楽・映画・美術の著作物侵害訴訟に特有の問題」（『民事弁護と裁判実務8 知的財産権』所収）
「写真の著作者」（『著作権判例百選(第二版)』（有斐閣）所収）
「スポーツ選手の氏名・肖像ー中田英寿事件」（『著作権判例百選(第三版)』（有斐閣）所収）
「不正競争法と知的財産権法の狭間ーいわゆる物のパブリシティ権を素材として」（コピーライト 2002年）
「パブリシティ権の理論と実務」（『エンターテインメントと法律』（商事法務）所収）
「マーチャンダイジング」（『ビジネス法務体系 I ライセンス契約』（日本評論社）所収）
「不正競争防止法における『混同』概念の客観化」（『知財年報 I.P. Annual Report 2006』別冊 NBL（商事法務）所収）
「知的財産権を侵害する旨の告知と不正競争防止法上の不正競争行為、独占禁止法上の不当な取引妨害」（Law & Technology 37号 2007年10号）監修『最新 情報漏洩対策ガイドブック』NTT情報流通プラットフォーム研究所著（株式会社アスキー） など
〈役職・学会活動等〉
日本弁護士連合会・知的財産政策推進本部委員、知的財産制度委員会副委員長、
「日本知的財産仲裁センター」の事業に関する委員会委員
法とコンピュータ学会・理事、弁護士知財ネット・理事、エンターテインメントロイヤーズネットワーク・理事、
日本工業所有権法学会、著作権法学会、法とコンピュータ学会等・各会員
〈役職・その他〉
財団法人ソフトウェア情報センター・評議員、社団法人日本芸能実演家団体協議会・監事、社団法人音楽制作者連盟・監事、その他監査役多数（略）